



平成29年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年6月12日

上場会社名 正栄食品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8079 URL http://www.shoeifoods.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)本多 市郎  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)藤雄 博周 (TEL) 03(3253)1211  
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月13日 配当支払開始予定日 平成29年7月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第2四半期の連結業績(平成28年11月1日~平成29年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第2四半期	54,936	0.3	3,555	30.2	3,577	28.4	2,320	34.0
28年10月期第2四半期	54,762	△1.5	2,729	22.1	2,785	16.2	1,730	△6.7

(注) 包括利益 29年10月期第2四半期 3,113百万円(592.2%) 28年10月期第2四半期 449百万円(△85.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第2四半期	136.10	—
28年10月期第2四半期	101.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第2四半期	68,139	35,444	50.9
28年10月期	61,912	32,570	51.4

(参考) 自己資本 29年10月期第2四半期 34,701百万円 28年10月期 31,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	10.00	—	14.00	24.00
29年10月期	—	15.00	—	—	—
29年10月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成29年10月期(予想)年間配当金の内訳 普通配当28円00銭 記念配当2円00銭

3. 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	0.3	5,300	12.6	5,300	14.5	3,400	14.0	199.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年10月期2Q	21,159,914株	28年10月期	21,159,914株
29年10月期2Q	4,109,845株	28年10月期	4,109,448株
29年10月期2Q	17,050,295株	28年10月期2Q	17,050,576株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、中国・アジア向けを中心に輸出が好調であり、また設備投資もリーマンショック前の水準を回復する等、明るさが見えております。個人消費については、前期比で若干のプラスの状況ですが、前期の反動で持ち直した側面も強く、賃上げ鈍化を背景に引続き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、共働きの増加による中食需要に対応した簡便な加工製品や健康志向に対応した乳製品やチョコレート製品等で増産への動きもある一方、集約化が進む小売業界への対応が求められており、各企業ではニーズにあわせた高付加価値製品の開発への動きが加速しております。

このような状況にあって当社グループは、グループ生産子会社を活用した高付加価値製品や簡便化・健康志向に適合した食材の提案を引続き行うと同時に、海外での販売活動にも注力して参りました。

これらの結果、売上面については、乾果実類（ナッツ・ドライフルーツ）の現地価格低下による減収要因は継続しておりますが、海外売上の増加とコンビニPB等のリテール商品の好調を受け、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.3%増の549億36百万円となりました。

利益面につきましては、健康志向に適合したナッツ類や菓子・リテール商品の売上増による工場稼働率の上昇、海外売上の増加等の要因により、営業利益は前年同期比30.2%増の35億55百万円、経常利益は前年同期比28.4%増の35億77百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比34.0%増の23億20百万円となりました。

所在地セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	日本	米国	中国	計		
売上高	47,184	10,637	5,479	63,300	△8,364	54,936
セグメント利益	2,776	757	211	3,745	△189	3,555

(注) 1. セグメント利益の調整額△189百万円には、セグメント間消去△19百万円、全社費用△170百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 1 日本

日本国内の売上高は、健康ブームを背景にナッツ・ドライフルーツのリテール製品、業務用乳製品、菓子類が販売増となりました。一方、ナッツ・ドライフルーツの食品メーカー向けの販売は販売数量は堅調であったものの、価格が前年同期比低下しており売上額は減少となりました。これらの結果、当地域の売上高は、前年同期比2.0%減の471億84百万円となりました。一方、セグメント利益については、グループ子会社生産品の拡販による工場稼働率の向上による利益率の改善等から、前年同期比18.2%増の27億76百万円となりました。

#### 2 米国

当地域の売上高は、プルーンや松の実の米国内売上は減少したものの、主力のクルミ事業の出荷が好調に推移していることから、前年同期比9.6%増の106億37百万円となりました。セグメント利益については、新たな販売先の開拓や工場の生産性の向上により利益率が改善しており、前年同期比81.4%増の7億57百万円となりました。

#### 3 中国

当地域の売上高は、中国国内での製菓・製パン業界向け販売は堅調に推移したものの、欧米向けの松の実やパンキンシードの輸出が減少したことから、前年同期比10.5%減の54億79百万円となりました。セグメント利益は、中国子会社生産品の中国内での販売増や欧米向けの輸出採算の改善により前年同期比58.7%増の2億11百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ62億27百万円増加し、681億39百万円となりました。その主な要因は、流動資産については、「原材料及び貯蔵品」が6億43百万円、「繰延税金資産」が1億23百万円それぞれ減少したものの、「現金及び預金」が9億97百万円、「受取手形及び売掛金」が28億66百万円、「商品及び製品」が14億60百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ50億3百万円増加し、475億31百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が12億68百万円、無形固定資産が17百万円それぞれ増加し、投資その他の資産が62百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ12億23百万円増加し、206億7百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ33億53百万円増加し、326億95百万円となりました。その主な要因は、流動負債については、「支払手形及び買掛金」が32億23百万円、「短期借入金」が5億92百万円それぞれ増加したことから、前連結会計年度末に比べ34億28百万円増加し、263億23百万円となりました。固定負債は、「退職給付に係る負債」が98百万円増加したものの、「長期借入金」が1億67百万円減少したことから、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、63億72百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ28億73百万円増加し、354億44百万円となりました。その主な要因は、「利益剰余金」が20億81百万円、「為替換算調整勘定」が6億94百万円それぞれ増加したことによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、24億46百万円（前年同四半期の得られた資金は24億39百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益35億70百万円、減価償却費8億96百万円、引当金の減少2億24百万円、売上債権の増加27億18百万円、たな卸資産の増加9億円、仕入債務の増加30億94百万円、法人税等の支払額10億96百万円等によるものです。

前年同四半期比で資金が増加となりました要因は、売上債権、たな卸資産が前年同四半期に比べ29億75百万円、1億73百万円それぞれ増加したものの、仕入債務が前年同四半期に比べ34億74百万円増加したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、16億20百万円（前年同四半期の使用した資金は8億39百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

前年同四半期比で使用した資金が増加となりました要因は、有形固定資産の取得による支出が8億7百万円増加したことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、91百万円（前年同四半期の得られた資金は7億76百万円）となりました。これは主に、短期借入金、長期借入金の借入による収入がそれぞれ4億82百万円、3億円、長期借入金の返済による支出が4億18百万円、配当金2億38百万円の支払によるものです。

前年同四半期比で資金が減少となりました要因は、長期借入金の借入による収入の減少によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、当第2四半期連結累計期間の業績や現時点での当社を取り巻く経営環境などを勘案した結果、平成28年12月13日に公表いたしました平成29年10月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,690,575	8,688,336
受取手形及び売掛金	18,708,335	21,574,460
商品及び製品	10,908,890	12,369,034
仕掛品	893,409	1,342,245
原材料及び貯蔵品	2,985,569	2,342,200
繰延税金資産	650,859	527,037
その他	696,676	695,236
貸倒引当金	△6,485	△6,874
流動資産合計	42,527,829	47,531,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,462,482	7,685,025
機械装置及び運搬具(純額)	4,023,350	4,317,329
工具、器具及び備品(純額)	277,848	266,449
土地	2,329,100	2,358,266
リース資産(純額)	148,917	118,030
建設仮勘定	350,376	1,079,104
その他(純額)	100,061	136,017
有形固定資産合計	14,692,137	15,960,223
無形固定資産		
ソフトウェア	46,225	56,394
その他	134,997	142,641
無形固定資産合計	181,222	199,035
投資その他の資産		
投資有価証券	3,743,129	3,823,379
繰延税金資産	33,985	28,739
その他	783,337	645,816
貸倒引当金	△49,178	△49,275
投資その他の資産合計	4,511,273	4,448,659
固定資産合計	19,384,633	20,607,918
資産合計	61,912,463	68,139,595

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,925,602	12,148,787
短期借入金	8,331,709	8,924,449
1年内返済予定の長期借入金	744,254	793,190
未払法人税等	952,645	995,837
賞与引当金	940,186	687,905
役員賞与引当金	12,960	22,560
その他	2,987,700	2,750,370
流動負債合計	22,895,058	26,323,099
固定負債		
長期借入金	4,657,926	4,490,454
退職給付に係る負債	378,758	477,595
役員退職慰労引当金	267,570	285,716
繰延税金負債	942,846	951,330
その他	199,983	167,098
固定負債合計	6,447,083	6,372,193
負債合計	29,342,142	32,695,292
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,379,736	3,379,736
資本剰余金	3,042,770	3,042,770
利益剰余金	27,421,243	29,503,234
自己株式	△3,701,083	△3,701,957
株主資本合計	30,142,666	32,223,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,734,237	1,781,815
繰延ヘッジ損益	△32,790	2,146
為替換算調整勘定	△332	694,032
その他の包括利益累計額合計	1,701,114	2,477,994
非支配株主持分	726,540	742,524
純資産合計	32,570,321	35,444,303
負債純資産合計	61,912,463	68,139,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
売上高	54,762,364	54,936,385
売上原価	46,741,946	45,778,442
売上総利益	8,020,418	9,157,943
販売費及び一般管理費	5,290,976	5,602,652
営業利益	2,729,441	3,555,290
営業外収益		
受取利息	5,063	2,711
受取配当金	17,290	20,443
持分法による投資利益	16,377	18,605
保険配当金	22,285	33,649
受取保険金	67,126	29,789
その他	68,959	40,562
営業外収益合計	197,103	145,762
営業外費用		
支払利息	92,922	74,115
為替差損	37,786	40,501
その他	10,313	9,228
営業外費用合計	141,022	123,844
経常利益	2,785,522	3,577,207
特別利益		
固定資産売却益	1,357	186
特別利益合計	1,357	186
特別損失		
固定資産除却損	15,277	6,552
その他	414	—
特別損失合計	15,692	6,552
税金等調整前四半期純利益	2,771,187	3,570,842
法人税、住民税及び事業税	843,539	1,164,379
法人税等調整額	177,794	76,437
法人税等合計	1,021,333	1,240,817
四半期純利益	1,749,854	2,330,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,945	9,327
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,730,908	2,320,697

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
四半期純利益	1,749,854	2,330,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△274,705	54,234
繰延ヘッジ損益	△388,537	34,937
為替換算調整勘定	△636,866	694,365
その他の包括利益合計	△1,300,109	783,536
四半期包括利益	449,744	3,113,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441,073	3,097,577
非支配株主に係る四半期包括利益	8,670	15,983

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,771,187	3,570,842
減価償却費	926,466	896,739
支払利息	92,922	74,115
為替差損益(△は益)	95,935	11,021
引当金の増減額(△は減少)	△240,724	△224,198
売上債権の増減額(△は増加)	257,327	△2,718,420
たな卸資産の増減額(△は増加)	△727,044	△900,790
仕入債務の増減額(△は減少)	△379,873	3,094,697
その他の流動資産の増減額(△は増加)	148,367	22,504
その他	625,441	△249,993
小計	3,570,006	3,576,517
利息及び配当金の受取額	30,366	41,065
利息の支払額	△88,332	△73,981
法人税等の支払額	△1,072,932	△1,096,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,439,108	2,446,793
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△790,637	△1,597,681
有形固定資産の売却による収入	2,087	608
投資有価証券の取得による支出	△6,865	△7,644
その他	△43,791	△15,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△839,206	△1,620,051
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,955,123	482,407
長期借入金の返済による支出	△423,368	△418,536
長期借入れによる収入	3,350,000	300,000
自己株式の取得による支出	△66	△873
リース債務の返済による支出	△32,681	△32,681
配当金の支払額	△161,980	△238,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	776,779	91,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	△172,181	79,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,204,499	997,761
現金及び現金同等物の期首残高	5,778,657	7,690,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,983,157	8,688,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,676,560	3,876,686	3,209,117	54,762,364	—	54,762,364
セグメント間の 内部売上高又は振替高	510,170	5,822,895	2,917,569	9,250,635	△9,250,635	—
計	48,186,731	9,699,581	6,126,686	64,012,999	△9,250,635	54,762,364
セグメント利益	2,348,003	417,497	133,312	2,898,813	△169,371	2,729,441

(注) 1. 第1四半期連結累計期間より海外現地法人の独立性強化を図ると共に、当該法人を統括する専任部門を本社内にて新設しております。これにより、セグメント利益の調整額に含めていた全社費用(主に一般管理費)の内、報告セグメントに帰属する費用△493,108千円を各報告セグメント(日本)に帰属させております。セグメント利益の調整額△169,371千円には、セグメント間消去△8,262千円、全社費用△161,109千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,910,436	4,905,487	3,120,462	54,936,385	—	54,936,385
セグメント間の 内部売上高又は振替高	273,667	5,732,237	2,358,614	8,364,519	△8,364,519	—
計	47,184,103	10,637,724	5,479,076	63,300,905	△8,364,519	54,936,385
セグメント利益	2,776,258	757,357	211,588	3,745,203	△189,913	3,555,290

(注) 1. セグメント利益の調整額△189,913千円には、セグメント間消去△19,834千円、全社費用△170,078千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。